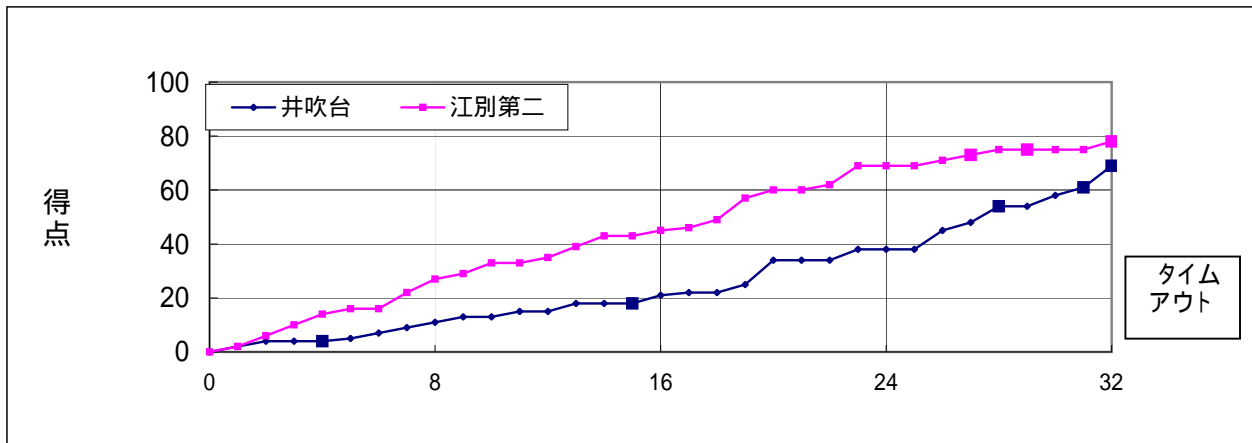


試合区分	1日目	予選リーグH	1GD4															
期日	2010年(平成22年)8月23日(月)		13:30															
会場	広島県立総合体育館																	
結果	井吹台 69 (兵庫)	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>-</td><td>27</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>24</td></tr> <tr><td>31</td><td>-</td><td>9</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	11	-	27	10	-	18	17	-	24	31	-	9	-	-	-	78 江別第二 (北海道)
11	-	27																
10	-	18																
17	-	24																
31	-	9																
-	-	-																
審判	主審 太田 俊祐	副審 与座 淳																



井吹台

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 山崎 颯太 (C)	10	2	1	2	4
5	* 永安 優介	4	0	2	0	5
6	* 脇田 伊織	15	0	6	3	2
7	* 葛原 大	19	0	9	1	3
8	八次 輝	0	0	0	0	0
9	重久 一輝	0	0	0	0	2
10	速水 隆太郎	-	-	-	-	-
11	* 塩見 亮太	21	3	5	2	3
12	柴田 和真	-	-	-	-	-
13	清水 雄太	-	-	-	-	-
14	大城 将健	-	-	-	-	-
15	足立 洸稀	-	-	-	-	-
16	片山 慎吾	-	-	-	-	-
17	高瀬 登	-	-	-	-	-
18	真田 浩明	-	-	-	-	-
コーチ	杉本 健					
合計		69	5	23	8	19

江別第二

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 中山 航 (C)	14	0	6	2	4
5	* 小野寺 真吾	11	0	5	1	3
6	* 濱崎 太夢	32	3	10	3	1
7	* 右近 悠人	0	0	0	0	4
8	高見澤 航也	0	0	0	0	1
9	太内 琢人	0	0	0	0	2
10	本間 貴士	2	0	1	0	1
11	菊池 遼	6	0	3	0	2
12	高橋 慎伍	-	-	-	-	-
13	* 船木 伶王	4	0	2	0	1
14	岸本 知生	-	-	-	-	-
15	長谷川 勇志	6	0	3	0	2
16	川嶋 啓己	3	0	1	1	0
17	田中 湧大	-	-	-	-	-
18	原田 直斗	-	-	-	-	-
コーチ	塚本 総朗					
合計		78	3	31	7	21

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

1Q、両チームともマンツーマンDefでスタート。江別第二は#4のリバウンドシュート#5ジャンプシュートでリードする。更に江別第二は#15を入れ1-3-1ゾーンDefで井吹台のミスを誘う。井吹台はタイムアウトで流れを戻そうとするがシュートがなかなか決まらず11-27で終了する。2Q、井吹台マンツーマン、江別第二1-3-1ゾーンDefでスタートする。井吹台は#4のペネトレイトや#6を起点とした速い展開で流れをつかもうとするがシュートが決まらず、逆に江別第二#6の連続シュートや速攻が次々と決まる。井吹台は#11の3Pが決まるが差は縮まらず21-45で終了する。

3Q、井吹台は#4、#5の合わせのプレイや#7のジャンプシュート、江別第二は#6の3Pやジャンプシュートで得点し、点差はほとんど変わらず38-67で終了する。4Q、井吹台#11の3Pが決まり、オールコートDefを仕掛ける。ダブルチームで江別第二のミスを誘い、#11の3Pや#7のジャンプシュートで追い上げる。その後も井吹台の怒涛の攻撃が続き、残り2分64-75になったところで江別第二がタイムアウト。最後まであきらめず粘り強くプレイした井吹台であったが、あと一步届かず69-77で江別第二が勝利し決勝トーナメント進出を決めた。

記事者 大坂 俊二 (所属) 広島